

平成27年度 結果の分析及び今後の改善策(案)

( 中間・最終 )

呉市立明德中学校区 校番 22 学校名 呉市立明德中学校

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(1年間) 経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
確かな学力の育成	基礎・基本の学力の定着・向上を図る。	<p>Ⓢ</p> <p>「読み・書き・計算」の基礎・基本を定着させる。</p>	<p>宿題の提出状況については、全学年の五教科の宿題提出率の平均を示している。2年生は1年生の時から、宿題の提出状況が良い状態が続いている。1、3年生は提出率の平均が70%を下回っている。個別に確認すると、宿題を提出しない生徒が固定化している状況も引き続き見られる。</p> <p>学力調査では、全国学力学習状況調査の通過率は、国語Aが69.7、数学Aが53.1、理科の「知識」に関する問題が58.1であり、それぞれ全国平均を大きく下回った。基礎・基本定着状況調査の基礎部分の通過率は、国語80.5、数学84.6、理科63.5、英語86.4であり、県平均を上回っている。</p>	<p>宿題については、これまでの学習習慣が大きく影響しているが、根気強く必要性を実感させる指導を進めていく。夏休みの課題については、全学年とも最後までやりきるよう指導している。今後も継続して指導したい。</p> <p>また、帰りの会でのドリルタイムは各学年で実施している。3年生では学力調査の通過率が全国平均を下回っているのので、2学期からはドリルタイムを30分延長して学力の定着を図りたい。また、各教科の改善計画をもとに校内研修を行い、全教員で課題を共有し、授業改善を進めていきたい。</p>
		<p>Ⓢ</p> <p>9年間を見通した表現力を育成する。</p>	<p>明德中学校区学習ルールの定着率は、生徒アンケートによると86.5%であり、目標値をわずかに上回った。学習ルールの中でも、特に、授業規律に関するものは定着率が高くなっている。しかし、返事や話すことに関しては定着率は80%を下回るものもあり、課題が残る。</p> <p>書く活動については、国語科を中心に各教科で自分の意見を書かせる指導を行っている。個人で作成する新聞やワークシートの中では、多くの生徒が自分の意見を書くことができています。</p>	<p>授業規律については、今後も100%の定着率を目指して指導を継続する。</p> <p>また、「理由をつけて話す。」ことに関しては、学年を追うごとに定着率が高くなっており、小中一貫して「論述」に関する指導を行っている成果が見られている。今後も「論述を」取り入れた授業を実践していきたい。</p>
豊かな心の育成	自らを律し、人の自然、社会とのかかわりの中で慣性を磨き、豊かな心を育てる。	<p>基本的な生活習慣の確立を図る。</p>	<p>昨年度までは、個人でめあてを設定していたが、今年度から学年ごとに教員がめあてを設定して取り組んだことにより、3点固定(起床・就寝・家庭学習)が達成できた生徒の割合が激減する結果となった。小中で評価法を統一し、生活リズムカードの様式を見直し、取り組んでいる。</p>	<p>年度初めの懇談会で保護者に生活リズムの重要性について周知した。引き続き、健康相談、保健だより等を通じて保護者、生徒に生活改善ができるよう、粘り強く働きかけていく。</p>
		<p>自尊感情や自己肯定感等を育成する</p>	<p>1学期は、全学年で小中一貫クリーン活動を行い、100%の生徒が満足したと回答している。また、生徒会中心に全学年で体育祭、クラスマッチ等に取り組み、高い達成感を得ることができた。</p>	<p>2学期は、小中合同防災訓練を9月に実施する予定である。また、文化祭では縦割り班による合唱、ダンスの取り組み等を通じて自己肯定感の向上に努めたい。</p>
健やかな体の育成	自分の体に関心をもち、健康で安全な生活をしようとする態度を育てる。	<p>保健教育・食育・安全教育を充実する。</p>	<p>1学期は、交通安全教室、携帯安全教室、心肺蘇生講習会を実施した。担当者が早めに外部連携したことにより、計画通り実施できた。</p>	<p>講師との折衝も含め、今年度実施予定のものについて詳細な計画案を作成し実施していく。</p>
		<p>基礎体力の向上を図る。</p>	<p>1学期に実施した新体力テストのTスコアは43.6と昨年度と比べて大きく下がっている。特に2年生の女子はTスコア39.1と40を下回っていることから基本的な運動能力を有していないことがわかる。また、全体をみても、多くの種目において得点が低く、基礎的運動能力の底上げが必要である。</p>	<p>新体力テストの結果では、全体的に得点が低く、すべての種目において改善が必要であるため、体育の授業の他に部活動とも連携して体力向上を図るとともに、個々の課題に応じた指導を実施する。</p>